



昨年度から医療安全管理部に戻ってきました。『あなたのそばに医療安全』をモットーとする看護師GRM(ゼネラルリスクマネージャー)です。気軽にご相談いただけるようにスタッフ一同、心がけております。指先呼称で エラー発生を6分の1に!!

医療安全管理部 看護師GRM 丸山雅道



指さし和尚くん



- \* 病院長メッセージ
- \* 質問コーナー
- \* リレーエッセイ
- \* 執行部より
- \* 栄養部監修レシピ

### 森実 真 副院長の「この季節に思うこと」

春と言えばランニングです。気候が良くなり、とても走りやすく感じます。冬だと早朝ランニングは寒くて布団から出るのもひと苦労ですが、この季節ならスッと起きることが出来ます。また、暑くもないので1~2時間のジョグであればダラダラと汗をかくこともなく、(私は)給水無しで走ることが出来ます。コロナ禍でも安心の「一人ぼっちラン」ですが、好きな音楽を聴いたり、日々変わりゆく景色を眺めたり、ゆっくり考え事をしたり、と楽しんでいきますので、私にとっては大切な気分転換・ストレス解消法となっています。



### 大塚 文男 副院長の「さわやかな話」

院内で一番さわやかな会議をご紹介します！当院の広報を担当する「Face(フェイス)活性化ミーティング」です。メンバーは、医師・看護師・技術職員・事務職員を含む多職種から構成され、広報やデザイン制作が好きなアイデアマンたちです。新型コロナの対策ポスター、学生支援の寄付募集ポスター、東京モノレール車内広告など、コロナ禍の中でも院内外に分かりやすく伝える“顔”となり、メンバー全員が真剣に活動し、活気にあふれています。新作として、今秋導入予定の岡大病院ドクターカーのデザインを、メンバーが担当しました。今後も“Face”メンバーの斬新なアイデアによって、“岡大病院ブランド”を爽やかな風のように発信いたします！



大塚 文男 副院長の「さわやかな話」



### ☆ 臨床栄養部監修レシピ ~彩り野菜とささみのサラダ~



野菜には、ビタミンやミネラル・食物繊維がたくさん含まれています。また、色とりどりの野菜を使うことで、食欲増進にもつながります。高たんぱく質で低脂肪のささみを組み合わせて栄養をアップさせましょう！

#### 【作り方】

- ①アスパラは根元の硬い部分をピーラーでむき、斜めに食べやすい大きさに切る。ブロッコリーは小房に分ける。アスパラ、ブロッコリーはお好みの硬さに茹で、水にさらして冷まし水気をきる。
- ②パプリカは、細切りにし、プチトマトは2等分にする。レタスは食べやすい大きさに切る。
- ③耐熱皿にささみをのせ、フォークで数カ所穴を開ける。Aを振りかけ、ふんわりとラップをして600Wのレンジで2分加熱する。取り出してラップをしたまま粗熱を取り、食べやすい大きさに割く。
- ④容器にBを入れて混ぜ合わせドレッシングを作る。
- ⑤器に具材を盛り、④をかける。

エネルギー	たんぱく質	脂質	炭水化物	食物繊維	食塩相当量
155kcal	9.8g	7.7g	11.6g	2.1g	0.7g

#### 【材料(2人分)】

- ささみ(筋なし) 60g
- アスパラ 1本(20g)
- ブロッコリー 60g
- レタス 30g
- プチトマト 2個(20g)
- パプリカ 1/4個(40g)

- ☆A 酒 大さじ1/2
- 塩 少々(0.1g)
- こしょう 少々

#### ドレッシング

- ☆B 酢 大さじ1
- オリーブオイル 大さじ1
- はちみつ 小さじ2
- 粒マスタード 大さじ1.5
- 塩 少々(0.1g)

### 前田 嘉信 病院長からメッセージ



★一日、10回「お大事に」★ある方から忠言をいただきました。「昔、アメリカに留学していたころ、近所のスーパーに行くとレジが終わると、店員から“Have a nice day!”と、よく声掛けされた。しかし、大学病院の窓口で『お大事に』と優しく声を掛けられたことがほとんどない。アメリカのスーパーのレジより遅れている」。ありがたい忠言です。私たちは患者さんのために仕事をしています。一日、10回、「お大事に」と笑顔で声掛けすることを心掛けたいと思います。職員に対しても「最初は気恥ずかしいかもしれないが、小さなことでもそれは人のためだけではなく、いつか自分にきっと返ってくるんだよ」ということを伝えていきたいです。

### 質問コーナー

#### ■「痛みを止めるにはどんな方法がありますか？」

痛み止めには以下のような方法があり、併用することもできます。

- ・飲み薬：術直後は吐き気があるため、それらが落ち着いてから使用します。
- ・点滴：自分で投薬を調節できるPCAという方法もあります。
- ・神経ブロック：傷の痛みを伝える神経の周囲に局所麻酔薬を注射する方法です。「硬膜外麻酔」「腹横筋膜ブロック」「大腿神経ブロック」など色々な種類があります。重要な神経の近くに注射しますので、神経を傷つけないよう慎重に行わなくてははいませんが、効果の強い方法です。長引く痛みはペインセンターにご相談ください。【麻酔科蘇生科 松岡義和】



#### ■「子どもに手術を受けさせるのが不安です」

お子さんが手術を受けられるとのこと、さぞかしご不安のことでしょう。子どもの不安を軽減し、前向きに手術を受けられるように、私たちは「プレパレーション」という援助を行っています。手術の説明は子どもがイメージできるように、パンフレットや人形を使いながら行っています。また、「眠っている間に終わるからね」「痛かったら先生が痛みを取ってくれるから我慢しなくていいんだよ」など、発達段階や性格、特性を踏まえて、言葉を選んで声をかけています。さらに終了後は子どもの頑張りを褒め、手術を受けたことが成功体験となるよう心がけています。【入院棟西2階 宮地恵子(小児救急看護認定看護師)】



#### ■「臨床研究コーディネーターってどんな仕事をしているの？」

新しい薬や医療機器(治験薬・治験機器)を患者さんや、健康な人に使用いただいて効果や副作用について調べたデータを製薬会社や医師が厚生労働省に提出し、製造販売の承認を得るために行う研究を治験といいます。私たちは病気とその治療、治験で期待される効果や予想される副作用、治験期間や検査内容、費用、副作用時の補償などが書かれた冊子を用いて詳しく説明しています。治験に参加する患者さんの不安を緩和し、少しでも参加の負担を軽減できるように工夫しています。



当院は教育研究機関を兼ねていますので、〇〇研究・ABC治験どうですか?と、やたらとお声がかかるかもしれません。疑問があれば何でもお尋ねください。参加は自由で、気が変わったら後からやめることもできます。

【臨床研究コーディネーター 今中泰子】

# ★2021年度 執行部紹介★



## 病院長〔研究(医科)担当副病院長兼務〕

前田 嘉信 (血液・腫瘍内科)



岡山大学病院は、「高度な医療をやさしく提供し、優れた医療人を育て、社会・地域の持続的な健康増進に貢献する」ことを理念として掲げています。国際的に最高水準の医療環境を提供することに加え、豊かな人間性を持つ医療人を育て、先進的な医療の開発を通じて社会・地域に貢献することを目指しています。



## 副病院長 総務運営担当

森実 真 (皮膚科)



総務運営を担当いたします副病院長の森実真です。患者の皆さまに岡山大学病院を信頼していただき、そしてより身近に感じていただけるよう、様々な方面から取り組んでまいります。趣味はランニングです。おかやまマラソン、そうじゃ吉備路マラソン、津山加茂郷マラソンを毎年楽しみにしています。



## 副病院長 企画・SDGs担当

大塚 文男 (総合内科・総合診療科)



企画・広報とSDGsを担当いたします副病院長の大塚文男です。患者の皆さま、そして学生・職員を含め病院に集う全ての方々に、安らぎのある優しい環境づくりを目指しています。趣味は音楽鑑賞です。昨年から中止している、院内コンサート等の催しを再開できる日が来ることを願っています。



## 副病院長 診療(医科)/ 防災担当

増山 寿 (産科婦人科)



医科診療を担当しております副病院長の増山寿です。地域医療から高度な先進医療まで、安全そして顔の見える温かい医療を提供できるように、“チーム岡大”一丸となって努力してまいります。趣味は、出張先で時間を見つけて訪ねる各地のMuseumめぐりです。本物にふれて感性を磨きたいと思っているのですが…。



## 副病院長 診療(歯科)担当

浅海 淳一 (歯科放射線科部門)



歯科診療を担当しています副病院長の浅海淳一です。大学病院では、様々な専門的な歯科診療を提供しています。是非ホームページを見て、お気軽にスタッフにご相談ください。私は料理を作ることが好きです。休みの日には1日の家族の食事をすべて作っています。コーヒーも毎朝豆を挽いて入れています。



## 副病院長 教育(医科)担当

伊野 英男



医科教育担当副病院長の伊野英男です。私の役割は、病院職員の学びと成長を支援することで、当院における良質で安全な医療の提供に貢献することです。医療を取り巻く種々の環境は日々変化しており、当院がこれからも、地域・世界のみなさまの健康と生命の維持・発展に貢献するためには、全ての職員が絶えず学び続けることが重要です。私は、これまで長く武道で培った「道＝持続可能な学びの環境」という考え方を活かし、当院の更なる成長に取り組んでまいります。



## 副病院長 教育・研究(歯科)担当

上岡 寛 (矯正歯科)



歯科領域の教育・研究を担当しています上岡寛です。大学病院では、日頃より患者の皆さまのご理解をいただき、診療を通して医療人の育成と臨床研究の推進を行っています。日頃のご協力誠にありがとうございます。自分の無知を知る機会となる読書会を、友人達と行っています。毎月のディスカッションが楽しみです！



## 副病院長 医療安全管理担当

塚原 宏一 (小児科)



医療安全管理を担当しています塚原宏一です。私は小児科医師です。私たち医療安全管理部は「医療の高品質と信頼できる安全」を保証する環境作りに努めています。私たちは医療者と患者さん、ご家族との良い信頼関係を築くことに力を尽くしたいと思っています。趣味は読書ですが、最近では小児保健だけでなく医療安全管理を対象にするものも多くなっています。



## 副病院長 看護・患者サービス担当

岩谷 美貴子 (看護部)



看護および患者サービスの質管理を担当いたします岩谷美貴子です。“患者さんにとって最善の医療”をお届けするために、患者さんの意思を大事にした“患者参画型医療”を推進してまいります。また、時代に即した利便性の高い患者サービスの提供にむけて努力してまいります。趣味は美術館めぐりです。魅かれる作品に出会う瞬間とユニークな空間の心地よさが好きです。



## 病院事務部長

仲井 精一



ご縁をいただき鹿児島大学病院から岡山大学病院へ転勤してきました。岡山県での勤務は初めてですが、何卒宜しくお願い申し上げます。



出身地は日本有数の豪雪地帯である福井県大野市です。本年1月中旬の実家の屋根は150cmを超える豪雪となりました。岡山県は瀬戸内の温暖な気候に恵まれた晴れの国、県内各所に歴史と文化を伝える旧跡があり、時間の許す限り先人の功績を辿ってみたいと思います。趣味というレベルではありませんが、大型自動二輪で海岸線をゆっくり走り、潮風を感じるのが楽しみです。

